

令和元年度第1回松戸警察署協議会

1 開催日

令和元年6月25日（火曜日）

2 開催場所

松戸警察署

3 出席者

・協議会委員 11人 ・警察署 14人

4 議題

(1) 警察署協議会について

(2) 治安情勢について

(3) 松戸警察署の交通事故情勢について

5 委員からの要望・意見等

(1) ゼブラストップ作戦について

【質問】 ゼブラストップ作戦とはどのような作戦なのか。

【回答】 「ゼブラ」は前方、ブレーキ、ライトの頭文字であり、「前方」は、前方をしっかり見て運転しましょう。「ブレーキ」は、横断歩道があるときはブレーキをかけて、安全に横断歩道を進行しましょう。「ライト」は以前から広報している「3ライト運動」のライトで、「前照灯を早期点灯し、ハイビームを活用しましょう」「反射材を付けて目立つように歩きましょう」「右側からの横断歩行者に注意しましょう」などと注意を促すものです。

また、横断歩道は縞々でゼブラ模様になっていることから、それらを掛け合わせてゼブラストップ作戦と言っています。

【その他】 ゼブラストップ作戦の効果か、最近、横断歩道で止まる車が増えたと感じているので、引き続き対策をお願いしたい。

(2) 車の事故防止機能について

【意見】 車の安全装置が付きすぎているが故に注意義務が散漫になってしまうという事案が増えていると聞いた。例えば、バックモニターがあると目視での後方確認をしなくなるなど、良い機能ができて、車に乗る者として本来守るべき基本的な事項が守られなくなるのは残念であり、そのような関係の事故が起こっていないか危惧している。

【回答】 安全装置が付いた車について紹介しましたが、警察としては運転手の責任に変わりはないというのが大前提であるので、運転者の自覚を高められるような取組

を行っていきます。

(3) 不審者等の状況について

【質問】 子供たちの通学時の安全についてどのように対策しているのか。

【回答】 事件事故を予防するというのが最も重要であり、警察官は交通上危険な場所、不審者情報のある場所等で警戒するなどしています。

また、防犯協会や自治会、安全協会などの方が自主的に防犯パトロールなどの活動をしています。

今後も、警察の力だけでなく、ボランティアの方や住民の方の力を借りたり、防犯カメラなど使用したりして予防と検挙の活動をしていく方針です。

【質問】 露出狂は現行犯でなければ捕まえないのか。

【回答】 もちろん現行犯が一番ですが、防犯カメラなどの証拠があれば現行犯でなくとも事後の捜査により逮捕することが可能です。

【質問】 女の子は、不審者に遭遇したことがあっても警察に言うことを嫌がる傾向があるが、それを聞いた自分が通報しても良いのか。

【回答】 大丈夫です。遠慮無く通報してください。

【質問】 女性の被害者に対しては女性に対応してくれるのか。

【回答】 当署は当直勤務をしている女性警察官もおりますので、ご希望があれば女性警察官が対応することも可能です。